



元気っ子

N o 350 ながさわ保育園

園 長

中 瀬 弦 偉

9月は恒例の高校野球のお話をさせていただきましたが、今月からはまた保育のお話に戻ります。

8月は「躰」や「言い聞かせ」について、ポウルビィの愛着理論を通してお伝えさせていただきました。ご家庭での育児に反映しやすい内容になっているかと思いますので、気になる方はまたそちらもお読みいただけたらと思います。

さて、私の一日は新聞に目を通すことから始まります。一通り目を通し、職員も読んでおいたほうが良い記事がある場合は、コメントを添えて職員連絡ツールで配信をします。乳幼児教育に関するものが多いのですが、人の生き方や世界情勢、スポーツ等、分野は多岐にわたります。共有する内容は一貫して「子どもと関わる大人は知っておいた方がよい」という視点です。例えば、学習指導要領の改訂が目前にせまっていますが、どのように改訂され、その目的は何なのかを知ったうえで、目の前の子どもに関わり、子どもに環境を提供していくのかと、知らずにそうしていくのでは、保育の質が全く異なります。

また少子高齢化社会、AI社会、見通しのたたないVUCAの時代において、人に求められる資質能力はどんなもので、それはどのような環境を通して育まれるのか、またそういった資質能力の土台になる学びは子どものどの時代に育まれやすいのか等についての知識見解をもった大人とそうでない大人では、当然子どもに対する関わりが違ってきます。

社会はものすごいスピード感で変化していっているので、いくら「自分が子どもの頃はこうやって育てられた」だとか「周りがそうしているから」なんてことは、もっと先の時代を生きていく子どもたちを育てていく育児の根拠にはなりません。

そういった意味において、特に保育を専門とする私たちにおいては、日々学びを積み重ねていく姿勢というのはとても重要な職務の一つと言えます。しかしながら、全ての職員が毎朝新聞に目を通すことはとても難しいことです。なので、ながさわ保育園では、職員の学びの一助となるように、新聞記事を共有するようにしています。ここから得る知識学びは職員の中に繰り返し少しずつ蓄積されていき、一人一人の保育に磨きがかかっていきます。そして大切にしないといけないポイントをしっかり押さえ、ますます保育に厚みが増していきます。そしてそれらの学び一つ一つが、お預かりしている皆様の大切な子どもたちへと還っていきます。保育士資格をもった職員は養成校で基礎を学んできていますが、これからの時代は変化のスピードが著しく速いので、それだけでは不十分です。常に学びなおしやアップデートが必要不可欠です。

これまででも、そしてこれからも職員研修等で保護者の皆様には送迎時間のご協力をお願いしたりする場合があります。その都度、しっかりと一人一人が学びを深め、保育の質を厚くし、皆様の大切なお子さんへと還していきますので、何卒ご理解をいただき、是非とも職員へのエールをいただけると大変うれしく励みになります。

最後になりますが、9月30日をもって、今年度の保育参加が終了いたしました。ご参加いただきました皆様、またアンケートへのご協力をくださいました皆様、どうもありがとうございました。すべてのご意見は職員に共有しながら今後の取り組みの参考にさせていただきます。